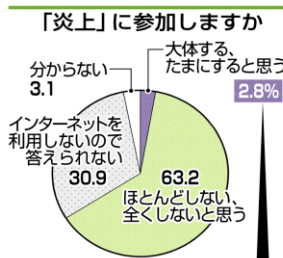




ネット炎上

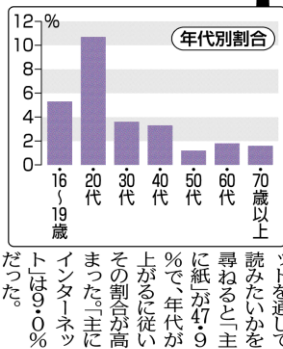


ネット上で企業や著名人が「炎上」した際、あたかもそれが世間の声のように捉えられることがあるが、ごく少数の人が繰り返し書き込んでいくのが実態とする見方もあり、こうした説を補強する結果とも言えよう。

調査によると、炎上への書き込みや拡散を「しないと思う」と答

ネット炎上

インターネットのブログや会員制交流サイト(SNS)に批判のコメントが殺到する「炎上」を自撃した際、自分も書き込みや拡散を「すると思う」と答えた人は2・8%だったことが21日、文化庁の2016年度国語に関する世論調査で分かった。炎上を8割近くが好ましくないと感じていることも判明した。



参加少数、「好ましくない」8割

「炎上」に対する認識の内訳は「好ましい」が0・9%で「どちらかといえば好ましい」が4・1%、「どちらかといえば好ましくない」が33・1%、「好ましくない」は44・5%に上った。

最も親しい人に本音を伝えやすい手段を複数回答で質問。90・1%が「直接会っての会話」を選び、SNSやブログでのメッセージは3・9%。国や自治体が発信した情報を紙で読みたいか、インターネットを通して読みたいかを尋ねると「主に紙」が47・9%で、年代が上がるに従いその割合が高まった。主にインターネットは9・0%だった。

(佐賀新聞 2017.9.22 付)

◎記事から読み取ろう

○「書き込み」や拡散についてまとめよう。

・「する」と答えた人は _____%

・「しない」と答えた人は _____%

*自分は する しない

○「炎上」についてまとめよう。

①「好ましい」「どちらか」と好ましい」と考えている人の割合 _____%

②「好ましくない」「どちらか」と好ましくない」と考えている人の割合 _____%

広げよう・深めよう

○それぞれの理由をそれぞれの立場から考えてみよう。

・「好ましいと思う」 なぜなら _____

だから。

・「好ましくないと思う」 なぜなら _____

だから。

○本音を伝えやすい手段として90.1%が「直接会っての会話」を選んだのはなぜだと思いますか。

◎自分の考えをまとめよう *友だちと意見交換たり、家族と話し合ったりしよう

○書き込みや拡散について、自分の考えをまとめよう。